

屋久島と種子島の魚類相調査

小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国・本村浩之

Ichthyofaunal Surveys in Yakushima and Tanegashima Islands

KOEDA Keita, YOSHIDA Tomohiro, TASHIRO Satokuni and MOTOMURA Hiroyuki

鹿児島大学総合研究博物館
Kagoshima University Museum

要旨

2014年9月16日から22日にかけて種子島、2014年12月25日から28日にかけて屋久島において潜水、釣りによる標本採集と市場での標本収集を併せた魚類相調査を行った。その結果、種子島から192種429個体、屋久島から54種82個体が採集された。このうち、種子島から採集されたウミヒゴイ属の1種は日本未記録種、屋久島で採集されたアゴアマダイ属の1種は、既知の同属他種には同定できないことから未記載種（新種）であると考えられる。

はじめに

鹿児島大学総合研究博物館が主導する近年の琉球列島における魚類学術調査によって、同周辺海域の魚類多様性と魚類相の特徴が解明されつつある。南北に長い琉球列島では強大な黒潮とそれを取り巻く複雑な海流が島嶼ごとに固有の魚類相を創りだしていることが分かってきた。これまで海水魚における生物地理境界線は、淡水魚や多くの陸上生物と同様にトカラ列島に位置すると考えられていたが、最近の調査の結果から、同境界線は屋久島と硫黄島＋竹島＋種子島の間に位置する可能性が高いことが明らかになった（本村 2013, 2014, 2015）。大隅諸島内に位置する境界線の存在と位置を明らかにするために、今回は屋久島と種子島における魚類の追加調査を行った。

方法

2014年9月16日から22日にかけて種子島、2014年12月25日から28日にかけて屋久島においてそれぞれの島の魚類相調査を行った。屋久島では潜水調査のみを行い、種子島で釣獲した個体や市場で購入した個体も併せて標本とした。

種子島では、これまでに魚類相を重点的に調査してきた島の北部だけでなく、島の中部（中種子町牧川漁港沖 30°37'N、130°57'E）と南部（南種子町竹崎漁港沖 30°22'N、130°57'E）を新たな調査地点として選定し、これらの地点において魚類の採集をおこなった。これは異なる環境で採集することで、より多様な種を得るためである。市場調査においても、中種子町の熊野漁港(30°27'N、130°57'E)や南種子町の島間港(30°27'N、130°51'E)など中南部の漁港に積極的に足を運び、魚を収集した。屋久島では、島の北西に位置する2ヵ所を調査地点として選定し、スクーバによって魚類の採集をおこなった。

潜水調査によって得た個体をエアレーションで生かしたまま、市場調査および釣りによって得た個体をクーラーボックスで氷冷して宿に持ち帰り、標本登録、種同定、DNA用筋肉切片の採取、固定といった作業に加え、展鱗と標本写真の撮影を適宜おこなった。なお、現地での標本処理や写真の撮影が不可能なほど大型の個体に関しては、大学に搬送した後に同様の処理をおこなった。

結果

種子島の中部および南部における5日間の潜水調査により97種211個体の標本を採集することができた。このうち、フチドリタナバタウオ *Acanthoplesiops psilogaster*、カクレテンジクダイ *Apogonichthyoides timorensis*、ツマグロハタンポ *Pempheris japonica*、ホソウバウオ *Pherallodus indicus*、アライソコケギンポ *Neoclinus okazakii*、アオサハギ *Brachaluteres ulvarum*、イトヒゲモジャハゼ *Barbuligobius boehlkei*、リュウキュウイタチウオ *Alionemataichthys riukuensis*、ツマジロモンガラ *Sufflamen chrysopterum* など、これまで島北部では採集されてこなかった種を数多く得ることができた。また、複数回おこなった島北部における潜水調査でも、これまでに採集されていなかったムラサメモンガラ *Rhinecanthus aculeatus* やクラカケモンガラ *Rhinecanthus verrucosus* といった種も得られた。

釣りによる採集では、23種65個体が採集され、このうちグルクマ *Rastrelliger kanagurta* は分布の北限を更新する標本となった。

市場における調査では、ウチワザメ *Platyrrhina sinensis*、オアカムロ *Decapterus tabl*、マダラハナダイ *Holanthias borbonius*、ホシゴンベ *Paracirrhites forsteri*、ヒメダイ *Pristipomoides sieboldii*、アオダイ *Paracaesio caerulea*、オニヒラアジ *Caranx papuensis* など、これまで北部の西之表魚類市場ではみられなかった種を収集することができた。

なかでも、2 個体が得られたウミヒゴイ属の 1 種は、日本未記録種であるとともに、分布の北限を更新することが明らかになった。本種は、これまでスマトラ島、スラウェシ島、ルソン島では標本の採集例があるものの、いずれも個体数が少ない。より南方に位置する琉球列島の島嶼群から記録のない本種が、種子島において採集されたことは、本調査における特筆すべき結果であるといえる。

屋久島では 3 日間のスクーバを用いた採集により 54 種 82 個体の標本を得ることが出来た。これまで MOTOMURA *et al.* (2010) は標本と水中写真に基づき 958 種を報告し、その後 MOTOMURA and AIZAWA (2011) など、複数の報告が相次ぎ、現在までに屋久島からおよそ 1,000 種の魚類の分布が確認されている。今回の調査で採集された標本のうち、アゴアマダイ科アゴアマダイ属の 1 種 (図 1) は、背鰭 11 棘 14 軟条、臀鰭 2 棘 14 軟条、縦列鱗 63~68 枚、胸鰭 18~19 軟条、頭部背面のほぼ全域に微小な孔器列が多数散在していること、および体側が黄色から褐色で体側中央に太い黒色帯が入ることなどの特徴の組み合わせが、既知種と異なることから未記載種である可能性が高い。同種と思われる標本が種子島浦田沖からも採集されており現在研究が進められている。



図 1 屋久島から採集されたアゴアマダイ科アゴアマダイ属の 1 種

テンジクダイ科のウスジマイシモチ *Ostorhinchus angustatus* とヤミテンジクダイ *Apogon semiornatus*、ベラ科のツキノワイトヒキベラ *Cirrhilabrus lunatus* とオハグロベラ属の1種 *Pteragogus enneacanthus* は、これまで水中写真のみ記録されており標本に基づく初記録となった。ヨウジウオ科ヒメトゲウミヤッコ *Halicampus spinirostris* は、松沼ら (2013) によって初めて日本から記録された稀種である。日本からは、これまでに慶留間島と与論島からそれぞれ1個体ずつ未成魚が採集されているのみであり、屋久島産の標本は本種の北限記録であるとともに3例目の記録となった。さらに、本調査で採集された標本は、標準体長 119.6 mm とこれまでの2例と比較して大きく、頭部の棘がよく発達していることから成魚であると判断できた。テンジクダイ科クダリボウズギスモドキ *Pseudamiops gracilicauda* は、これまで奄美大島以南から標本が得られていたが、本調査で得られた1個体によって、従来の報告より北限を更新することとなった。

以上のように、種子島、屋久島での潜水作業を伴う標本採集により、これまで両島で採集されてこなかった魚種が数多く採集されたことに加え、未記載種や日本未記録の種を採集することが出来た。

引用文献

- 松沼瑞樹・瀬能 宏・本村浩之 2013. 琉球列島から得られた日本初記録のヨウジウオ科ヒメトゲウミヤッコ (新称) *Halicampus spinirostris*. 魚類学雑誌, 60: 157-161.
- 本村浩之 2013. 屋久島の魚類相の謎. 悠久の時を刻む屋久島. 月刊ダイバー, 391: 128-134.
- 本村浩之 2014. 鹿児島島の魚類. かがしま探訪第19回. 鹿大ジャーナル, 195: 19.
- 本村浩之 2015. 琉球列島の魚類多様性. 南西諸島の魚類多様性, その成立と保全. エコロジー講座8 (日本生態学会編), 南方新社, 鹿児島 (印刷中).
- MOTOMURA, H. and AIZAWA, M. 2011. Illustrated List of Additions to the Ichthyofauna of Yaku-Shima Island, Kagoshima Prefecture, Southern Japan: 50 New Records from the Island. Check List, 7: 448-457.
- MOTOMURA, H., KURIHARA, K., KATAYAMA, E., SENOU, H., OGIHARA, G., MEGURO, M., MATSUNUMA, M., TAKATA, Y., YOSHIDA, T., YAMASHITA, M., KIMURA, S., ENDO, H., MURASE, A., IWATSUKI, Y., SAKURAI, Y., HARAZAKI, S., HIDAKA, K., IZUMI, H. and MATSUURA, K. 2010. Annotated Checklist of Marine and Estuarine Fishes of Yaku-Shima Island, Kagoshima, Southern Japan. In: Fishes of Yaku-Shima Island – A World Heritage Island in the Osumi Group, Kagoshima Prefecture, Southern Japan (Eds. MOTOMURA, H. and MATSUURA, K.), 65-248, National Museum of Nature and Science, Tokyo.